

# Fine Technical Racing

## カワサキのレジェンドがけん引する 新生チーム

### 7・30に走行会

○…チームは7月30日、岡山国際サーキットで走行会「ファインテクニカルライド2023」を開催する。初心者から上級者まで楽しめるように、「それぞれのレベルにあった模擬レースを行い、ライダーの気持ちを体験してもらえよう」と山本代表。詳細は調整中で、決まり次第、チームの公式ホームページで発表する。

ST1000を戦うファインテクニカルレーシングの(左から)成田、清原顧問、山本代表、塚本監督、松本

### ST1000クラス

「Fine Technical Racing」が、カワサキ車を走らせる新生チームとして注目を集めている。昨年から全日本ロードレース選手権のST1000クラスに参戦。今季は2年目を迎える松本隆征(26)、新たに加わった成田彬人(24)の2人体制で挑む。山本和正代表(51)の下、清原明彦顧問(77)と塚本昭一監督(62)というカワサキのレジェンド2人がけん引。若手ライダーコンビはもちろん、チームとしてもレースを通じての成長を目指す。

FineTechnicalRacing

ST1000

17 松本 隆征 (Ryusei MATSUMOTO)

KAWASAKI ZX-10RR

34 成田 彬人 (Akito NARITA)

KAWASAKI ZX-10RR

清原 明彦顧問

塚本 昭一監督

山本 和正代表

http://www.finetechracing.net/



### 「若手ライダーの助けに」 清原顧問

### 「レース界に恩返し」 塚本監督

### 山本代表「いつか鈴鹿8耐に参戦できるチームに」

「Fine Technical Racing」の山本和正代表

チームは山本代表が2017年に設立した。バイクはただあがれるだけの物だった。40代で「ラストチャンス。この機会を逃したらバイクに乗ることもない」と一念発起して免許を取得。清原顧問が神戸市内で経営する「プロショップキヨ」でバイクを購入し、一気におもむきでサーキットに出かけ、サーキット走行も経験。「まずは地方選から、自分もライダーとして走りたい。お金でタイムは買えない。速いバイクを買って良いパーツを付けてあげ、努力しなければ速くはない」と知った。ゆくりなく、進歩を感じられることが喜び。奥が深いスポーツだと感じた。

レースの面白さに目覚め、全日本ロードレース選手権を購入して観戦するようになった。いつか「自分も全日本チームを持ち、ライダーを走らせたい」との思いを抱き、「カワサキファンだったこともあり、清原さんや塚本さんにも手伝ってもらって、チーム運営に乗り出した」。

清原顧問は言わずと知れた「ミスターカワサキ」だ。1977年、カワサキのテストライダーを務めながらワークスライダーとしても契約。同年のロードレース世界選手権(WGP)第2戦ドイツGPの250ccクラスに「KR250」で初参戦すると、いきなりポールポジションを獲得し、決勝で2位に入った伝説を持つ。全日本でも多くの勝



★全日本ロードST1000 日程★

| 日         | 開催地    | (レース数)  |
|-----------|--------|---------|
| 4/1, 2    | モテギ    | (1レース)  |
| 4/22, 23  | 鈴鹿2&4  | (レースなし) |
| 5/20, 21  | SUGO   | (1レース)  |
| 6/18      | 筑波     | (レースなし) |
| 8/19, 20  | もてぎ2&4 | (レースなし) |
| 9/2, 3    | オートポリス | (2レース)  |
| 9/23, 24  | 岡山国際   | (1レース)  |
| 10/14, 15 | 鈴鹿     | (1レース)  |

### 成田と新コンビ結成!! 松本「トップ10を目指したい」

塚本監督が2人の成長を助けたところを込め、山本代表はライダーもメカニックもヘルパーも、レーシングチームに関わる全てのスタッフが大事。みんなの協力で成り立つレースを大事に戦ってほしいと話す。レジェンドの薫陶を受ける2人のライダーが激戦のST1000でどこまでの走りを見せるか山本代表の「いつかは鈴鹿8耐に参戦できるようなチーム」という夢の実現へ、全員で力を合わせ戦っていく。

松本は8歳でバイクに乗り始め、2018年に全日本デビュー。同年の鈴鹿8時間耐久ロードレースのST1000クラスで優勝した。新型コロナウイルスで活動休止を乗り越え、昨季はST1000に初参戦してランキング17位。「右も左も分からない中で無事に戦い終えることができたのは、チームのおかげ。今年はその経験を生かして、トップ10を目指したい」と2年目の飛躍を誓う。

新たにコンビを組む成田は19年から全日本JGP3に参戦し、20年にランキング3位。同クラス2連覇中の尾野弘樹が監督として若手育成に努める「チームヒロ」の出身だ。小排気量のイメージが強いが、昨年は岡山国際の地方選ST1000に参戦して優勝を飾っている。

### 一念発起

チームは山本代表が2017年に設立した。バイクはただあがれるだけの物だった。40代で「ラストチャンス。この機会を逃したらバイクに乗ることもない」と一念発起して免許を取得。清原顧問が神戸市内で経営する「プロショップキヨ」でバイクを購入し、一気におもむきでサーキットに出かけ、サーキット走行も経験。「まずは地方選から、自分もライダーとして走りたい。お金でタイムは買えない。速いバイクを買って良いパーツを付けてあげ、努力しなければ速くはない」と知った。ゆくりなく、進歩を感じられることが喜び。奥が深いスポーツだと感じた。

レースの面白さに目覚め、全日本ロードレース選手権を購入して観戦するようになった。いつか「自分も全日本チームを持ち、ライダーを走らせたい」との思いを抱き、「カワサキファンだったこともあり、清原さんや塚本さんにも手伝ってもらって、チーム運営に乗り出した」。

清原顧問は言わずと知れた「ミスターカワサキ」だ。1977年、カワサキのテストライダーを務めながらワークスライダーとしても契約。同年のロードレース世界選手権(WGP)第2戦ドイツGPの250ccクラスに「KR250」で初参戦すると、いきなりポールポジションを獲得し、決勝で2位に入った伝説を持つ。全日本でも多くの勝

### ▼成田彬人(なりた・あきと) 1998(平成10)年2月18日生まれ、24歳。大阪府出身。2017、18年に全日本併催のMFJカップGP250に出場、18年にINTクラスでランキング3位。19、21年は全日本JGP3に参戦、ランキング最高位は20年の3位。今季が初のST1000挑戦。

### ▼松本隆征(まつもと・りゅうせい) 1996(平成8)年9月4日生まれ、26歳。大阪府出身。近畿選手権などで腕を磨き、2018年に初出場の鈴鹿8耐でST1000クラス優勝(長尾健吾とペア)。昨年ファインテクニカルから全日本ST1000フル参戦を果たし、ランキング17位。利を収めた経験を選ん、若手ライダーの助けになることはうれしい。何よりもカワサキ車でのレース参戦してくれる山本代表に感謝」と目を細める。 塚本監督は89年にカワサキのワークスライダーとなり、同年のルマン24時間耐久ロードレースで3位表彰台を獲得。92年には全日本のTTF1クラスでチャンピオンに輝いた。その豊富な経験を生かして若いチームを率い、「自分もキヨさん(清原顧問)も『レース界への恩返し』という思いが強い。チームの役に立つように力を尽くしたい」と意気込む。 松本は8歳でバイクに乗り始め、2018年に全日本デビュー。同年の鈴鹿8時間耐久ロードレースのST1000クラスで優勝した。新型コロナウイルスで活動休止を乗り越え、昨季はST1000に初参戦してランキング17位。「右も左も分からない中で無事に戦い終えることができたのは、チームのおかげ。今年はその経験を生かして、トップ10を目指したい」と2年目の飛躍を誓う。 新たにコンビを組む成田は19年から全日本JGP3に参戦し、20年にランキング3位。同クラス2連覇中の尾野弘樹が監督として若手育成に努める「チームヒロ」の出身だ。小排気量のイメージが強いが、昨年は岡山国際の地方選ST1000に参戦して優勝を飾っている。

ビギナーからエキスパートまで、サーキットを楽しむための走行会！

Fine Technical Ride 2023

in OKAYAMA International Circuit

2023.7/30 SUN · 10/29 SUN

参加者募集中！

詳細はこちらから検索

ファインテクニカルライド

Expert class 20min×3session

Sports class 20min×3session

Under400 class 20min×3session

Simulation Race × All classes

主催：(株)ファインテクニカルホールディングス(モーターススポーツ事業部) 問合せ：ファインテクニカルライド事務局 TEL.06-6344-1122 / FAX.06-6344-1121

FineTechnicalRacing